



# 「湖の子」水調べ

～「湖の子」水そうで発見！～



活動のねらい ●琵琶湖や地域の水のにごり具合や色、においなどを調べ、場所などによる各地の水のちがいに気づくとともに、水とわたしたちのくらしの結びつきについて興味・関心を深める。	【時期】 通年
	【場所】 1日目の「うみのこ」航路上(例 出港地付近、南湖、北湖、展望地、寄港地)
	【時間】 25分～40分
	【準備物】 各地の水(約30ℓ) 「湖の子」水槽(船内常備) ポリタンク(船内常備) 水調べ測定用具(船内常備) 滋賀県地図パネル(船内常備)

## 主な活動の流れ

事前学習

- 学校や家の近くの川・池や内湖の水を採取し、にごり具合や色、においなどを調べる。
- 「湖の子」水調べについて、方法や目的を知る。  
・比較する水の場所、水槽を使つての調べ方について確認する。  
→「湖の子」水調べ 指導者用資料』参照
- フローティングスクールで調べるびわ湖の水について、にごり具合や色、においなどの予想を立てる。

### びわ湖の場所による水のちがいを調べよう。

フローティングスクール

- ① 調べる各地の水の透き通り具合や色、においについて予想したことを確認する。  
・事前学習で予想した内容を出し合う。
- ② プランクトンウォッチングで、にごりの主な原因がプランクトンであったことを押さえる。  
・場所によってにごり具合が違うのか、つまりプランクトンの量が違うのか、ということをつまららかにする学習活動であることを押さえる。  
・プランクトンウォッチングの学習がまだであれば、地点によって水のにごり具合が異なるということを押さえる。
- ③ 実際に観察したり、測ったりして比較する。  
※同じ場所の水を大勢で、同時に観察することができないので、観察順序を練っておく。  
(A, B, Cグループに分けるなど)  
※実験の要領や場の設定などについては『「湖の子」水調べ 指導者資料』を参照
- ④ 調べた結果、見つけたことをしおりなどに記録する。
- ⑤ わかったことを全体でまとめる。  
・水の透き通り具合や色などは場所によってちがうことを確認する。  
・プランクトンウォッチングの学習がまだであれば、このにごりの原因が何であるかを調べる学習であるということ伝える。  
・透明度盤の使い方について紹介し、透明度マップでびわ湖全体の様子について確認する。

事後学習

- 各地の水のにごり具合や色、においがちがう理由を考えたり、調べたりする。
- びわ湖や地域の水と自分たちの生活との関係を調べる。



# 「湖の子」水調べ

～「湖の子」水そうで発見！～



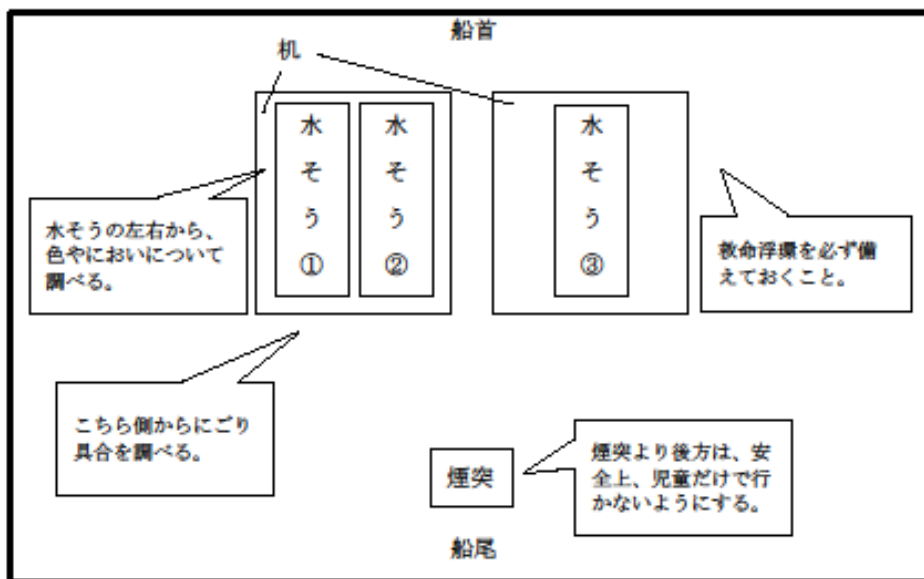
## 学習会場図

【活動場所】

### 「3階後部甲板」

### 「湖の子」水調べ

### 学習会場図



### 「1階シャワー室」

